

農業用自動車のリスクと JAの自動車共済で備える安心



農業を営む皆さまにとって、トラクタやコンバイン、スピードスプレーなどの農業用自動車は欠かせない存在です。農業用自動車は、日々の作業を支える大切な道具ですが、一方で事故による賠償やケガのリスクもともないます。今号では、農業用自動車に潜むリスクと、万が一の事態に備えるためのJAの自動車共済についてご紹介します。

農業用自動車に潜むリスクとは？

農林水産省の調査によると、農作業における危険性は非常に高く、死亡事故の発生割合は建設業の約2.5倍、全産業の10倍以上とされています（図1）。

令和5年の農作業事故の死亡者数は236件であり、JA共済の共済金支払データを分析したところ、農作業事故は年間約6万4,000件発生していると推測されます（図2）。特に、農業用自動車については農作業事故の発生頻度が高く、重症度が高いことが明らかとなっています。

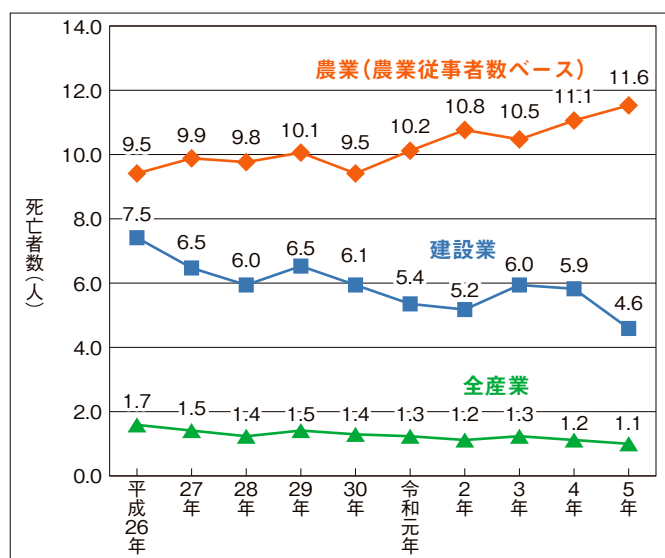


図1 10万人当たりの死亡事故発生件数の推移
（出典：令和7年2月農林水産省「令和7年度の農作業安全対策の推進方針について」）

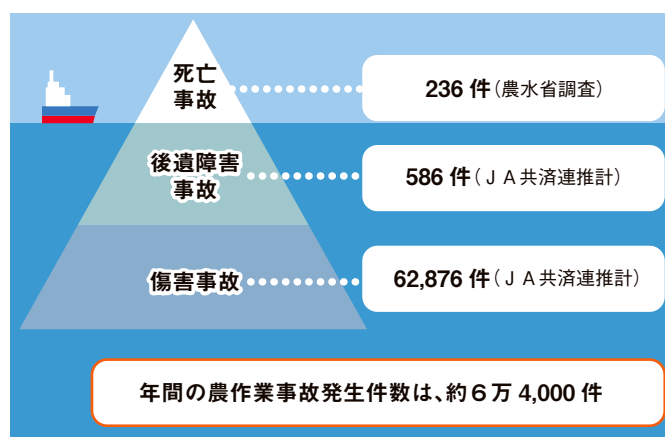


図2 農作業事故の全体像（JA共済連推計）

以下、農業用自動車に潜むリスクをご紹介します。

交通事故のリスク

農業用自動車を公道で運転する際、一般車両と混在することで交通事故が発生するリスクがあります。特にトラクタやコンバインは速度が遅く、周囲の車との速度差が大きいため、追突事故の危険性が高まります。また、これらの車両は視界が悪く、特に夜間や視界の悪い場所では歩行者やほかの車両を見落とししたり、操作が複雑なため運転者が誤操作をしたりすることで事故が発生するケースもみられます。

転倒・転落事故のリスク

農道や畑の傾斜地での作業中、トラクタや農用運搬機がバランスを崩し転倒する事故が多く報告されています。こうした事故は運転者の重大なケガや機械の破損につながる可能性があり、農作業中の重大なリスクのひとつです。農業機械作業に係る死亡事故の多くは、機械の転倒・転落が原因であり、圃場への出入りや狭い農道の通行、トラックへの積み込み・積み下ろしの際に多くの事故が発生しています。

盗難のリスク

近年、農業機械の盗難が全国的に増加しています。盗難事件は農村部で多発しており、令和5年における全国での被害は135件におよびます。特に、高価なトラクタは狙われやすく、盗難に遭うと大きな経済的損失を被ります。盗難を防止するためには、エンジンキーを抜く、農地へ放置しない、鍵の施錠などできるだけ多くの対策をすることが重要です。

自然災害によるリスク

農業用自動車は、自然災害によるリスクにもさらされています。特に台風や大雨、洪水、地震などの災害は、深刻な損害をあたえる可能性があります。自然災害は予測が難しく、適切な保管対策や保障による備えが重要です。

安心して農作業を続けるために

農業用自動車は作業効率を高める一方で、事故や故障といったリスクをともないます。万が一の事態に備え、適

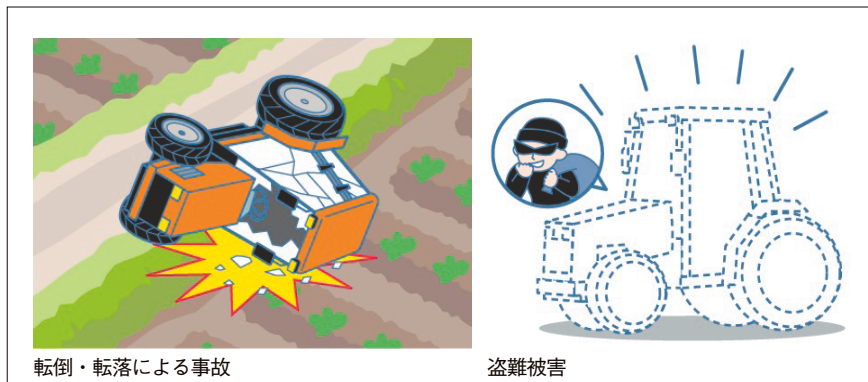


図3 農業用自動車に潜むリスク



写真1 農業関連高校で農作業事故をVR体験する様子

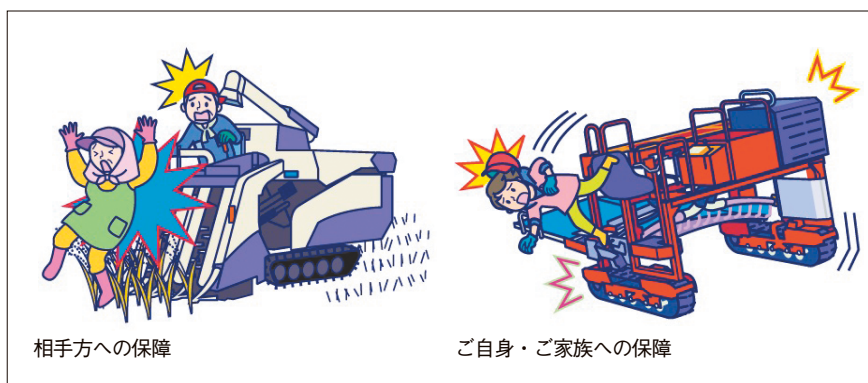


図4 J Aの自動車共済での保障例



写真2 農業機械安全使用啓発と自動車共済チラシ

切な保障を受けられるようにしておくことが、安心して農業を続けるための重要なポイントです。J Aの自動車共済は、農業者の皆さまの実態に即した保障を提供し、事故やトラブルが発生した際にも迅速に対応できる体制を整えています。

J Aの自動車共済で備える安心

相手方への保障

万が一、農業用自動車で「他人を死傷させた」場合や「他人の車やモノを壊してしまった」場合、相手方から損害賠償請求を受けることがあります。自動車共済なら、対人・対物賠償の保障があり、安心して農業を続けることができます。

ご自身・ご家族への保障

農業用自動車の事故は運転者自身も負傷するリスクが高く、治療費や入院費がかかることもあります。J Aの自動車共済は、運転者や同乗者のケガを保障する特約があり、万が一の際も安心です。

農業用自動車への保障

自動車共済の車両保障では、農業用自動車が事故や自然災害で損傷した場合の修理費用を保障します。トラク

タやコンバインなどの修理費用は高額になりがちですが、J Aの自動車共済に加入していれば負担を軽減できます。

農作業事故を防ぐために—J A共済の取り組み

J A共済では、農作業事故の未然防止に向けた取り組みを強化しています。

特に、農作業事故体験VRを活用した安全啓発活動に力を入れており、VRを利用して実際の事故を疑似体験することで、危険を「自分ごと」として実感し、安全意識の向上を図っています（写真1）。

また、J A全農と協力し、農業用自動車取扱いの安全啓発と自動車共済のご案内にも取り組んでいます。ご案内にかかるチラシ（写真2）は、農業用自動車を使用する際のチェックポイントなどをわかりやすくまとめており、日々の農作業に役立てていただけます。

J A共済は、これからも農業者の皆さまが安心して作業できる環境づくりを支援していきます。ぜひ、安全への意識を高め、事故のない農業をめざしましょう。

自動車共済の詳細や加入については、お近くのJ A窓口までお気軽にご相談ください。

【全国共済農業協同組合連合会 全国本部 普及企画部】